



社会貢献の基本方針

地域に感謝の気持ちを込めて

富士重工業グループの社会貢献は、輸送機器メーカーとして果たすべきことを中心に取り組み、地域の皆さまに喜んでいただける存在となることを目指しています。また、社会貢献を企業風土として根づかせ、真に心のこもった活動を行いたいという考えを社会貢献方針に織り込んでいます。

社会貢献方針

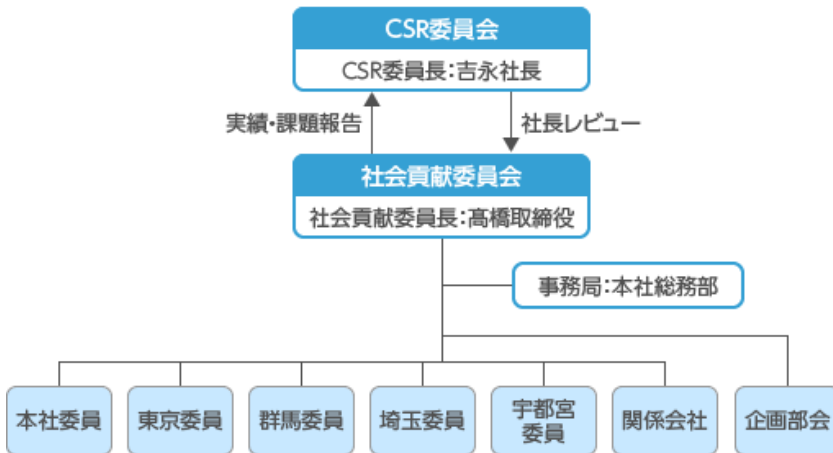
- 私たちは、科学技術やのりもの文化の発展、交通安全の普及に貢献します。
- 私たちは、ものづくりの楽しさ、大切さや尊さを知る、人づくりに貢献します。
- 私たちは、私たちが活動する地域の発展に貢献します。
- 私たちは、一人ひとりもよき市民として、社会に貢献することを互いに応援します。

社会貢献活動の推進体制

富士重工業グループでは、自社の技術やノウハウなどを活用した社会貢献活動を積極的に進め、継続させていくための組織として社会貢献委員会を設けています。

社会貢献委員会は、委員長を当社の総務部担当役員が務め、そのほか各事業所長で構成されています。委員会は半年に1回定例開催し、活動の実績や課題をとりまとめてCSR委員会に報告。CSR委員会の委員長である社長から評価を受け、さらなる改善を図っています。

社会貢献委員会 組織図



社会貢献委員会



国内での取り組み

乗り物文化の発展・交通安全の普及

交通安全運動

各事業所では、警察や安全運転管理者協会などの協力のもと、事業所に白バイ隊員を招き、従業員および一般の方を対象としたオートバイ安全運転講習会を開催しています。

また、夜間における交通事故防止用の反射材を電柱に貼付する活動や、事業所周辺の通学路などでの街頭交通指導など、さまざまなイベントを通じて交通安全・事故防止のための活動を推進しています。



左：夜間における交通事故防止用の反射材を電柱に貼付する活動
右：通学路での交通安全指導

交通安全啓発活動

当社は、子ども向けサイト「スバルキッズ」の運用を開始し、子どもたちの交通安全意識の向上に取り組んでいます。

また各事業所では、従業員に対しても長期連休前をはじめ、折に触れて交通事故防止の啓発を行うなど、交通社会の一員としての意識づけを積極的に行っています。



子ども向けサイト「スバルキッズ」

<http://www.fhi.co.jp/kids/>

スバルビジターセンター

スバルビジターセンターは2003年7月15日にオープンし、工場見学などで矢島工場に訪れるお客さまにスバルの歴代のクルマや世界記録を樹立したクルマ、スバルの個性的な技術や環境への取り組みなどを展示し、紹介している施設です。2014年度は97,617名のお客さまにご来場いただき、オープン以来の見学者が累計で100万人を超えました。

見学の申し込み（10名～200名）

**スバルビジターセンターの詳細については、
こちらをご覧ください**

<http://www.subaru.co.jp/about/showroom/vc/>



スバルビジターセンター

ファンミーティングでチャリティオークションを実施

2015年3月、モータースポーツシーズンの開幕直前企画としてSUBARUファンとの交流を深める「2015 SUBARU モータースポーツファンミーティング」を開催し、245名にご来場いただいたほかWebでの生中継も実施しました。今シーズンの全日本ラリーに参戦する車両の展示をはじめ、チームの紹介や選手・監督への質問コーナーなど各種イベントを行いました。

選手が着用するスーツやホイール、ステアリングなどのチャリティオークションも実施し、それらの売上は、今後実施される予定の2015年度チャリティ売上金と合わせて社会福祉団体に寄付する予定です。



チャリティオークションの様子



オークションに出品されたスーツ

公益財団法人交通遺児等育成基金への寄付

当社は2015年3月、公益財団法人交通遺児等育成基金に約46万円を寄付しました。寄付金は、交通遺児の健全な育成・就学支援などのために活用されます。

モノづくり・人づくり

出前環境授業

宇都宮製作所では、環境への理解を深めてもらうことを目的に、出前環境教室を開催しています。この活動は、宇都宮市内の小学校5年生を対象に、当社の従業員が講師として出向き、実験や授業を通して地球温暖化の仕組みや、環境についての理解を深めてもらうことを目的としています。2014年度は13校（834名）で開催しました。

また、2013年度からは半田工場がある愛知県半田市の小・中学校にも活動の場を広げ環境教室や「飛行機が飛ぶ仕組み」の講話、当社の航空機製造の歴史、製品の紹介・航空機材料体験等を2014年度は9校（455名）で開催しました。

活動を始めた2006年から宇都宮・半田地区累計147校（10,286名）となっており、地域に定着した活動となっています。



宇都宮市内の小学校での環境授業

TOPICS

特別授業「生き方を学ぼう」を小学校で開催

2006年から、スバルの開発者やラリードライバーの経験を小・中学生、高校生に語り、自分の将来像を見据えることや夢に向かって努力することの大切さを伝える活動を続けています。

2014年6月には、群馬県太田市立生品小学校で、ラリードライバーの新井敏弘氏を講師として招き、「生き方から学ぼう・自分にできること」をテーマとした特別授業を実施しました。講演後には、校庭でラリーカーの見学やデモ走行を行いました。



講演を行った新井敏弘氏（左）と当社従業員（右）



迫力のあるラリーカーの走行に子どもたちも興奮

地域貢献

「スバル地域交流会」活動

群馬製作所ではお取引先とともに「スバル地域交流会」を組織しています。「スバル地域交流会」は、太田市と周辺地域住民との相互交流ならびに地域発展を図り、住み良い街づくりに貢献することを目的としています。



記念式典の様子

なお、2014年8月にスバル地域交流会が発足20周年を迎えたことから、太田市新田文化会館エアリスホールにて記念式典およびコンサートを開催しました。

「スバル地域交流会」2014年度の主な活動

- 「花いっぱい運動」花の苗配布（6月、9月、12月）
- ふれあいコンサート（8月、12月）
- チャリティ & 親睦ゴルフ大会（11月）
- 小学校対抗花壇コンクール（1月）

詳細は「スバル地域交流会ホームページ」をご覧ください。

なお、国内関連企業部会参画の（株）イチタン、桐生工業（株）、（株）スバルロジスティックスの3社は本交流会の会員となっています。

<http://www.chiiki-kouryuukai.com/>

地域清掃活動

当社は、定期的に従業員による各事業所周辺の美化・清掃活動を行っています。今後も地域の美化活動への取り組みを継続していきます。

2014年度は、各事業所合計でのべ約4,000名が参加しました。



左：宇都宮製作所「クリーンキャンペーン」

右：埼玉製作所「ぴかぴか北本お任せプログラム」

チャリティコンサート

スバル地域交流会で実施している「ふれあいコンサート」では、不要なタオル、石鹸、日用品などをお客さまにご持参いただき、それらを福祉協議会へ寄付する活動を行っています。



ふれあいコンサート

少年野球教室の開催

当社硬式野球部は、群馬県内や東京都武蔵野市などの野球場で野球教室を開催しています。小中学生が参加し、現役選手からスポーツの楽しさや基礎を学ぶ機会となりました。



野球教室の様子

環境維持活動支援

TOPICS

富士スバルライン周辺の環境維持活動に協力

当社は、富士スバルラインを運営する山梨県道路公社富士山有料道路管理事務所（山梨県南都留郡富士河口湖町）にスバル XV ハイブリッド1台を寄贈しました。この車両はスバルラインのパトロールカーとして使用されます。また、富士山および富士北ろく地域の清掃と美化啓発に取り組む「富士山をきれいにする会」（山梨県甲府市）に50万円を寄付しました。2014年9月に、富士スバルライン料金所前で寄贈式典が行われました。



寄贈車両 スバルXVハイブリッド



寄贈式典の様子

ボランティア活動支援

当社は社会貢献方針に、従業員一人ひとりが市民として行う社会貢献活動を応援することを明記しています。これは、従業員が積極的に社会貢献の意識を持つことにより、社会に貢献する風土を全社に根付かせることを目的としています。

これを具現化する取り組みとして、積極的なボランティア活動を通じて地域や社会に貢献している従業員を表彰しています。この表彰制度は2006年に創設し、2015年6月の第10回表彰式では3名の従業員を表彰しました。



表彰を受けた従業員3名（前列）と当社役員（後列）



海外での取り組み

Subaru of America, Inc.での取り組み

生徒・学生たちの宇宙飛行実験を支援

SOAIは、地球宇宙科学国立教育センター（National Center for Earth and Space Science Education）が主催する学生宇宙飛行実験プログラム「Student Spaceflight Experiment Program」のナショナル・スポンサーです。この取り組みは、科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、数学（Math）の頭文字から「STEM」と呼ばれており、それら各分野の科学実験を全米の生徒や学生たちが設計、提案するというものです。選ばれた実験は、国際宇宙ステーションで宇宙飛行士が生徒・学生的设计どおりに実施します。このユニークな取り組みを通じて、SOAIはこれまでに3,500人以上の若者を支援しています。



Subaru of Indiana Automotive, Inc.での取り組み

地域の公園を憩いの場に改装

2014年10月、インディアナ州ラファイエット市に拠点を構えるSIAは、同市の自治体およびラファイエット公園財団とともに「スバル サウス・チップ・パーク」の開設式を祝いました。SIAは現地企業との協力のもと、古くなっていたこの公園を、誰もが安全に利用できる地域の憩いの場へと生まれ変わらせました。



ゴルフイベントを通じて乳がん患者を支援

SCIが主催し、ゴルフ・カナダ (Golf Canada) とカナダがん協会 (Canadian Cancer Society) が協賛する「がん治療のためのゴルフ募金 (Golf Fore the Cure)」は、女性にゴルフを楽しんでもらうためのプログラムです。2014年9月には、全国イベントが開催され100名以上が参加しました。2014年のキャンペーン期間中に寄せられた約30万ドルは、乳がん患者の支援に役立てられます。ボランティアに支えられている本プログラムによって、これまでにカナダ各地で開催されたイベントは約200回、ゴルフに参加した女性は10万人を超え、集めた支援金は530万ドル以上にのぼります。



「ドナルド・マクドナルド・ハウス」への寄付

2014年6月、オンタリオ州のスバル・ディーラー連盟により、今年で2回目を迎えるチャリティ・ゴルフ・トーナメントが開催され、ディーラーおよびベンダー各社から76名が参加しました。このイベントを通じて集められた2万1千ドルは、病気で入院している子どもと付き添い家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス (トロント)」の支援に活用されます。また、同年8月にはケベック州のディーラー連盟がチャリティ・ゴルフ・トーナメントを開催し80名以上が参加しました。このイベントで集められた5万ドルは「ドナルド・マクドナルド・ハウス (ケベック)」に寄付され、知的障がいのある人たちがスポーツを通じて人生を豊かにする活動に役立てられます。



ドナルド・マクドナルド・ハウス (トロント) に小切手を手渡すSCIの太田士郎会長兼社長とドン・ダースト上司副社長



ドナルド・マクドナルド・ハウス (ケベック) に小切手を手渡すケベック州ディーラーの方々